

UiPath.UiPath-AAAv1.v2026-06-26.q21

試験コード： UiPath-AAAv1
試験名称： UiPath Certified Professional Agentic Automation Associate (UiAAA)
認証ベンダー： UiPath
無料問題の数： 21
バージョン： v2026-06-26
ページの閲覧量： 105
問題集の閲覧量： 217
<https://www.jpnshiken.com/shiken/UiPath.UiPath-AAAv1.v2026-06-26.q21.html>

質問: 1

エージェントによる自動化の機会を特定する上で、「現状」のプロセス図はどのような意義を持つのでしょうか？

- A. これは、現在のタスクの実行方法を定義し、非効率性、ボトルネック、および自動化の可能性を発見できる改善領域を明確にするのに役立ちます。
- B. これは自動化の準備が整ったプロセスの最終版マップとして機能し、さらなる調整やワークショップの必要性を排除します。
- C. 最適化されたプロセスにおいてエージェントが担う役割を明確に示し、自動化要件との整合性を確保します。
- D. 新しいプロセスの目標を確立し、後で「あるべき」プロセス マップを作成するための基礎となります。

正解: [\(正解を表示します\)](#)

正解はAです。「現状」プロセス マップは、UiPath の Agentic Blueprint Design フレームワークにおける基礎的なツールです。作業の実行方法の現状を視覚化し、チームが次のことを実現できるようにします。

* 手作業、反復作業、または時間のかかる作業を特定する

* スポット的な遅延、手戻りループ、または人的ボトルネック

エージェントがタスクを補完または代替できる領域を発見する

これはベースライン診断として機能するものであり、実装準備が整ったフローではありません。

これは、プロセスオーナーやビジネス分野の専門家が主導するワークショップにおいて、エージェントを導入する「あるべき姿」のプロセスを設計する前に踏む重要なステップです。

Bは誤りです。現状の地図は最終版ではありません。

Cは現在の状態ではなく、最適化された状態を指します。

Dはマッピングの役割を誤解している。それは目標ではなく現状を捉えている。

質問: 2

エージェント型自動化の発見を検討する際、どの側面が、ソリューションが関係者の責任と課題に合致することを保証するのでしょうか？

- A. タスクの依存関係のみに焦点を当て、これらのタスクを実行する個人の日常的な苦勞を無視している。
- B. タスクに必要な構造化知識コンテキストと非構造化知識コンテキストを評価するが、これらの操作を実行するペルソナは除外する。
- C. タスクを実行する人々、そして彼らのニーズ、課題、責任を考慮して、役割またはペルソナを定義します。
- D. システム、アプリケーション、ツールが人間の役割とどのように相互作用するかを理解せずにマッピングする。

正解: [\(正解を表示します\)](#)

正解はこれです。ペルソナ中心のアプローチは、UiPathのエージェントディスカバリーおよびブループリントデザイン手法の基盤となっています。

自動化の機会を特定する際、UiPathは以下の点を重視しています。

- * プロセスの背後にいる実際の人々を理解する
- * 顧客の課題、反復作業、意思決定疲労、ワークフローのボトルネックを特定する
- * その役割を果たし、日々の業務に自然に組み込まれるエージェントを設計する。これにより、エージェントは以下のことが保証されます。
- * 価値がある（適切な問題を解決する）
- * 採用可能（人々の実際の働き方に合致する）
- * 持続可能（ユーザーのニーズに合わせて進化する）

オプションA、B、Dはアンチパターンであり、それぞれ人間の状況を無視したために自動化がうまく機能しないという発見上の欠陥を表しています。

ペルソナの定義は、単なる処理ボットではなく、信頼できるデジタル同僚として機能するエージェントを設計するために不可欠です。

質問: 3

影響度と実現可能性のマトリックスは、エージェントによる自動化のユースケースの優先順位付けにどのように役立ちますか？

- A. 実装による潜在的な影響やビジネス上のメリットを考慮せずに、実現可能なすべてのユースケースを特定することによって。
- B. 利用可能なリソースで実装可能かどうかを考慮せずに、影響力の大きいユースケースのみに焦点を当てること。
- C. 現在のリソースとテクノロジーを考慮し、潜在的なビジネス改善と実装の容易さに基づいてユースケースを評価します。
- D. 実現可能性や組織への実際の影響に関係なく、すべてのプロセスの自動化を優先することによって。

正解: [C \(コメントを發表する\)](#)

正解はCです。UiPathのインパクトと実現可能性マトリックスは、エージェントによる自動化の発見と優先順位付けの段階で使用される構造化されたツールです。これにより、チームは2つの主要な側面に基づいて自動化の機会を評価し、ランク付けすることができます。

* 影響：時間短縮、リスク軽減、効率化、ユーザーエクスペリエンスの向上など、ビジネスにもたらされる価値。

* 実現可能性：技術的な複雑さ、データの入手可能性、リソースの制約、統合の準備状況などを考慮して、実装がどれほど実用的か、費用対効果が高いか。

このマトリックスは、ユースケースを次のような象限に分類するのに役立ちます。

* 短期的な成果（高いインパクト、高い実現可能性）

* 戦略的賭け（影響度は高いが、実現可能性は低い）

* 後回しにする（影響は小さいが、実現可能性は高い）

* 回避またはバックログ（影響度低、実現可能性低）

UiPathは、この方法によってチームはエージェントによる自動化が迅速に真のビジネス価値を生み出す分野に注力できるようになり、優先度の低いアイデアや実行が困難なアイデアに時間を浪費することを回避できると強調しています。

オプションAとBは、2つの軸のうち1つを無視した部分的なアプローチである。

Dは誤りです。すべてのプロセスを自動化すべきではありません。特に、価値の低いプロセスやリスクの高いプロセスは自動化すべきではありません。

このバランスの取れたフレームワークは、自動化を戦略的優先事項に整合させるためのUiPathのエージェント設計ブループリント手法の中核を成すものです。

質問: 4

エージェントが人間によるエスカレーション解決後に実行すべき動作を定義する設定領域はどれですか？

A. 課題の受取人リスト

B. エージェントメモリの切り替え

C. 入力説明フィールド

D. 結果行動セクション

正解: D ([コメントを发表する](#))

正解はDです。結果動作セクションでは、エスカレーションが人間によって解決された後にエージェントがどのように応答するかを設定します。

UiPathのエージェント設計プロセスでは、タスクが人間のレビュー担当者にエスカレーションされた場合（たとえば、アクションセンター経由）、エージェントは次のようになります。

* 人間の入力を待つ

* 結果（承認、却下、フラグなど）を受け取る

* その後、結果動作で定義されたロジックに基づいて処理を続行します。これには以下が含まれる場合があります。

* 自動化を進める

* 代替フローのトリガー

* 結果の記録またはさらなるエスカレーション

その他のオプションは誤りであるか、無関係な設定を参照しています。

* (割当て受取人リスト)は、誰がタスクを受け取るかを定義するものであり、その後何が起こるかを定義するものではありません。

* B (エージェントメモリの切り替え)はコンテキストの保持を制御し、エスカレーション後の動作を制御しません。

* C (入力説明はユーザーがフィールドを理解するのに役立ちますが、フローロジックを制御するものではありません。

結果動作」セクションでは、エージェントが人間とのやり取りの後、インテリジェントかつ一貫性のある対応を行うことを保証します。これは、自動化と人間によるレビューの両方を含むハイブリッドワークフローにおいて非常に重要です。

質問: 5

ある企業は、顧客サポートのワークフローにエージェントを組み込み、顧客の感情を検知して苦情を分類しようとしています (例 :請求に関する問題」製品の欠陥)。しかし、エージェントの応答では、不満や緊急性といった微妙な感情の手がかりを見逃してしまうことがよくあります。プロンプトのデザインをどのように変更すれば、感情検知の精度が最も向上するのでしょうか？

A. 感情分析の目的を説明する明確な文脈を含め、緊急性を識別するための制約を定義します。

B. 感情的なトーンで曖昧な制約を与える。

C. 詳細なタスク指示を削除して、エージェントが顧客メッセージを解釈する際の自由度を高めます。

D. 苦情の分類のみに焦点を当て、感情的なニュアンスは後処理に頼る。

正解: A (コメントを公表する)

Aの指摘は正しい。エージェントの感情検出能力を向上させるには、明確なタスクコンテキストと明確に定義された期待値を含む、適切に構造化されたプロンプトから始める必要がある。特に、苛立ち、緊急性、皮肉といった微妙な感情を検出する場合には、このことが重要となる。

UiPathのプロンプトエンジニアリングフレームワークによると、優れたプロンプトには以下の要素が含まれるべきである。

* タスクの目的 : 例 :「ユーザーメッセージにおける感情と緊急性を検出する」

* 定義またはルール : 例 :「緊急性には、時間的制約、キャンセルの脅迫、または過激な表現が含まれる」

* 出力制約: 例: 「肯定的、中立的、否定的、緊急 (はいいいえ)に分類する」これは LLM に役立ちます:

* 緊急性があなたのビジネス環境において何を意味するのかに基づいて、その根拠を明確にしてください。

* 中立的な表現を誤解したり、幻覚を見たりしないようにする

* 下流の自動化またはレビュー用に、一貫性のあるラベル付き出力を生成します。オプション B は構造が欠けています - 感情的なトーン # 明確さ。

C はリスクが高い。自由度が高すぎると、結果が不安定になる。

D は、特に感情が苦情の優先順位付けに影響を与えることが多いため、一緒に処理するのが最適なタスクを分離します。

プロンプトに感情分析に基づくロジックを組み込むことで、UiPath エージェントは重要な問題をリアルタイムでよりの確に検出できるようになり、迅速な対応と顧客体験の向上を実現できます。

質問: 6

コピー & ペースト作業において、Autopilot for Everyone のクリップボード AI に頼るのが適切なのはどのような場合ですか？

A. 同じチャット中に複数の異なる表を連続して貼り付ける予定があり、Autopilot for Everyone が各貼り付けを自動的にキューに入れることを期待している場合。

B. オペレーティングシステム、ファイルの種類、貼り付け回数に関係なく、コンテンツを貼り付ける必要がある場合。

C. Windows マシンで作業していて、チャット インターフェースから直接別のアプリケーションに表 (たとえば PDF から) を AI で貼り付ける必要がある場合。

D. macOS を使用していて、Autopilot for Everyone で Linux VM 上でコピーとペーストを実行したい場合。

正解: **C** ([コメントを发表する](#))

Cis は正しいです。Autopilot for Everyone に組み込まれているクリップボード AI は、Windows 環境に最適化されており、特に PDF から表を抽出して Excel、Word、または Web フォームに転送するなど、構造化されたコピー アンド ペースト操作を実行する場合に効果的です。

最適な使用シナリオ：

* 構造化データ (表やテキストブロックなど) をコピーします。

* オートパイロットのチャットウィンドウに一度貼り付けてください

* Autopilot に「これを [対象アプリ] に構造化された形式で貼り付ける」ように指示する

* クリップボード AI のロジックを活用してコンテンツをインテリジェントにマッピングおよびフォーマットします。オプション A は誤りです。Autopilot は複数のペーストをキューに追加しません。各操作はスコープ化されます。

B はプラットフォームの独立性を過大評価している。現在のサポートは Windows 優先である。

D は誤りです。クリップボード AI は macOS や仮想マシン間でのペーストをまだサポートしていません。

この機能は、技術的な知識のないユーザーが繰り返し行うコピー&ペースト作業を自動化するのに役立ち、アプリケーション間で情報を転送する際の速度、正確性、および構造を向上させます。

質問: 7

UiPath製品 (エージェントなど)でコンテキストグラウンディングが使用される場合、どの類似性検索機能が活用されますか？

- A. コサイン類似度検索
- B. シグモイド類似性検索
- C. ソフトマックス類似度検索
- D. ReLU類似性検索

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 8

複数のドキュメントにまたがるデータをクエリする際に、コンテキストグラウンディングの主な利点は何ですか？

- A. コンテキストグラウンディングでは、文書間のデータポイントの関連性を特定するために手動による介入が必要です。
- B. コンテキストグラウンディングは、一度に単一のドキュメント内でのクエリに限定されます。
- C. コンテキストグラウンディングは、文脈を理解せずにランダムな文を抽出するだけです。
- D. コンテキストグラウンディングは、文書間のデータポイント間の関係を理解し、要約、データ比較、関連性の高い情報の検索などのタスクを可能にします。

正解: ([正解を表示します](#))

正しくありません - UiPath のコンテキスト グラウンディングは、インデックス化されたコンテンツ全体にわたるセマンティック検索を使用して、データが複数のドキュメントにまたがる場合でも、エージェントに関連性のある意味のあるコンテキストを提供します。

この機能は以下によって実現されています。

- * 埋め込みベースの類似性検索 (例コサイン類似度)
 - * 企業データのインテリジェントなチャンキングとインデックス作成
 - * エージェントのプロンプトまたはユーザー入力に基づく実行時クエリのマッチング
- これにより、エージェントは以下のことが可能になります。

分散コンテンツ全体から関連情報を取得する

- * データが断片化している場合でも、トピック間の関係性を検出する
- * 複数ドキュメントの要約、比較、知識ベースの推論をサポートします。たとえば、エージェントは複数の人事ドキュメントにわたるポリシーの詳細を比較して統一された応答を生成したり、異なるファイルに分散している請求書記録の矛盾を特定したりできます。

オプションAは誤りです。インデックス作成が設定されると、コンテキストグラウンディングは自動的に行われます。

Bは誤りです。これは、複数の文書を横断的に検索するように設計されています。

Cはシステムを誤って表現している。ランダムなテキストを抽出するのではなく、LLMの意図に基づいて意味的に関連のある文章を取得する。

この強力な基盤メカニズムにより、UiPathエージェントはインテリジェントで、コンテキストを認識し、特に知識集約型の環境においてエンタープライズ対応が可能になります。

質問: 9

システムプロンプトとは何ですか？

A. システムプロンプトは、自動化プロセスに組み込まれた技術的なスクリプトであり、自然言語による説明を考慮せずにツールの使用方法とエスカレーションプロトコルを決定します。

B. システムプロンプトとは、エージェントが時間経過による適応や相互作用なしに厳密に従う、あらかじめ定義されたアクションとコマンドのリストです。

C. システムプロンプトを使用すると、ユーザーは自分の役割、目標、制約を説明し、ツールの使用、エスカレーション、コンテキストなどのアクションのルールとガイドラインを指定できます。

D. システムプロンプトはエージェントの制約のみを定義し、目標設定や手順の順序付けには対応しません。

正解: **C** ([コメントを发表する](#))

正解はこれです。UiPathのエージェントオートメーションフレームワークでは、システムプロンプトはエージェントのID、目的、動作ルール、ツール使用ロジックを定義する重要な構成要素です。

一般的には以下が含まれます。

* エージェントの役割：例「あなたは調達アシスタントです」

* 目標：例「仕入先の見積もりを分類、要約、または検証する」

* 制約事項：例「100語を超えないこと」、「基準Xを満たした場合にのみエスカレーションを使用すること」

* ツールの使用方法：例「Xが発生した場合にチームに通知するには、Slackツールを使用してください」

* エスカレーションロジック：例「信頼度が閾値を下回る場合は、担当者にエスカレーションする」

* コンテキスト統合：例「利用可能な場合は、ECS Index のグラウンデッド コンテキストを使用する」これにより、予測不可能または複雑なワークフローでも、LLM が一貫性のある透過的な動作を実現できます。また、エージェントの初期設定としても機能し、実行時にエージェントが行うすべての決定に影響を与えます。

選択肢Aは誤りです。システムプロンプトはコードではなく、自然言語で記述されます。

Bは誤りです。特にメモリやツールと併用する場合、動的な適応が可能になります。

Dは不完全です。システムプロンプトは、目標、制約、および手順の順序を網羅していません。

要するに、システムプロンプトはエージェントの「頭脳」であり、何をすべきか、どのようにすべきか、いつ行動すべきか、いつエスカレーションすべきかといったことを、すべて自然言語による宣言的な形式で指示します。

質問: 10

Maestroモデリングキャンバスにアクセスするために<https://www.google.com/search?q=bpmn.uiopath.com>を使用する際の主な推奨事項は何ですか？

A. 実装機能を備えたエージェントプロセスを作成するに

は、<https://www.google.com/search?q=bpmn.uiopath.com> を独占的に利用してください。

B. このツールには実装機能がないため、サンドボックスとして

<https://www.google.com/search?q=bpmn.uiopath.com> を使用してください。

C. Studio Web から定義済みのプロセス テンプレートをインポートするに

は、<https://www.google.com/search?q=bpmn.uiopath.com> のみを使用してください。

D. 完全な実装機能を備えたプロセスのモデリングには、常に

<https://www.google.com/search?q=bpmn.uiopath.com> を主要ツールとして使用してください。

正解: [\(正解を表示します\)](#)

その通りです。bpmn.uiopath.comのキャンバスは、エージェントプロセスを設計・視覚化するための軽量サンドボックス環境ですが、完全な実装機能は含まれていません。これは、UiPathのより広範なMaestroエクスペリエンスの一部であり、初期段階の発見、コラボレーション、アイデア創出のために設計されています。

主な特徴：

- * ドラッグ & ドロップによるBPMNモデリング
- * エージェント、決定、自動化、エスカレーションの概要を作成する能力
- * 技術開発開始前に利害関係者と協力するのに役立ちます
- * 直接実行、ツール統合、またはランタイムサポートが欠如している

これは、以下の用途で使用されるStudio WebまたはAutomation Cloudの代替品ではありません。

- * 完全実装
- * ツール、プロンプト、またはシステムへの接続
- * デプロイとテスト

オプションAは誤りです。実装にはStudio Webへの移行が必要です。

Cは誤りです。このツールはモデリング用であり、テンプレートのインポート/エクスポート用ではありません。

Dは自身の役割を誤って表現している。これはフル機能のモデリングツールではなく、発見段階のサンドボックスである。

ベストプラクティス bpmn.uiopath.com を使用して共同で設計を行い、その後、フローをエクスポートまたはマッピングして、8n、Studio、または Maestro のプロダクションキャンバスに展開およびテストします。

質問: 11

MaestroでBPMNを使用してエージェントプロセスをモデル化し、そのライフサイクル全体を管理する典型的なペルソナはどれですか？

- A. プロセス運用チームおよびシステム管理者
- B. プロセスエクセレンスアナリストによるパフォーマンス最適化
- C. センター・オブ・エクセレンスの自動化開発者
- D. ビジネスチームにおけるプロセスオーナー

正解: ([正解を表示します](#))

正解はDです。UiPathのMaestroオーケストレーションフレームワークによると、プロセスオーナーはエージェントワークフローの定義と管理において中心的な役割を果たします。UiPath Maestroでは：

- * プロセスオーナーは、BPMN図を使用して、作業の流れ、意思決定ポイント、引き継ぎ、および自動化ステップをマッピングします。
- * エージェントの境界、エスカレーションルール、および成功条件を定義します。
- * このモデルでは、ビジネス側の専門家が技術チームと協力しながら、自動化設計を主導的に行うことが可能になります。

IT部門やCoE (センター・オブ・エクセレンス)の開発者が担当する従来の自動化とは異なり、エージェント型プロセスはビジネスコンテキストの認識を必要とするため、プロセスオーナーは設計からガバナンス、最適化に至るまでのライフサイクル全体を管理する上で不可欠な存在となる。

オプションAとBはサポート役を指します。オプションC (開発者は設計の一部を実装しますが、通常はライフサイクルを管理したり、プロセスビジョンを主導したりすることはありません。

これは、UiPathがStudio WebのMaestroとAutopilot™によって実現する、ビジネス主導の自動化に向けた幅広い取り組みを反映したものです。

質問: 12

UiPath Maestroの「外部エージェントを開始して待機する」機能を使用して呼び出すことができるエージェントの種類は何ですか？

- A. UiPath Orchestrator ロボットのみ。
- B. SalesforceやServiceNowなどの外部エージェント。
- C. 同一プロジェクト内でのみ構成されるエージェント。
- D. 入力変数や出力変数を必要としないエージェント。

正解: ([正解を表示します](#))

正解はこれです。UiPath Maestro の「外部エージェントを開始して待機する」機能は、同じプロジェクトまたは自動化環境内で構成されている別のエージェントを呼び出すために使用されます。

これにより、以下のことが可能になります。

* エージェント間連鎖

* モジュール設計により、複雑なタスクは専門のエージェントにオフロードされます

* 外部エージェントがタスクを完了したら、結果または出力が返されます。エージェントは以下の条件を満たす必要があります。

* 正しく設定されている

* 入出力準備完了

* 同一ソリューションのオーケストレーションコンテキスト内で利用可能

選択肢Aは誤りです。この機能はエージェントに関するものであり、ロボットに関するものではありません。

Bは間違いです。Salesforceのような外部プラットフォームには、エージェントとしてではなく、コネクタを介してアクセスします。

Dは誤りです。入出力パラメータはエージェント間で使用することができ、また多くの場合使用すべきです。

質問: 13

受信メールを「緊急」「通常」「スパム」の3つのカテゴリに分類するエージェントを開発しています。構造化された形式で少数のサンプルを使用することで、分類精度を向上させたいと考えています。この目標を最も効果的にサポートするアプローチはどれでしょうか？

A. ランダムなメールを3通含めて、LLMに意図を推測させる。

B. ラベルなしのプロンプトの後にランク付けされたカテゴリを使用する：

これを分類してください。[レポートの更新が必要です。]- [1] 緊急 [2] 通常 [3] スпам

C. 以下のような例を使用してください。

入力：「この問題に直ちに対処してください。サーバーがダウンしています！」出力：「緊急」

D. 1つの例を示し、推論のためにラベルを空白のままにします。

正解: [\(正解を表示します\)](#)

包括的かつ詳細な説明 (UiPath Agentic Automationのドキュメントより) :

正しいアプローチはCです。これは、UiPath Autopilot™と、より広範なエージェント型AI設計の両方において、意図分類の精度を向上させるために十分に文書化され推奨されている手法である、少数のプロンプトパターンを最もよく反映しているからです。

UiPath Agentic Automation、特にプロンプトエンジニアリングでは、少数のサンプルデータを用いて、大規模言語モデル (LLM) をタスク固有のコンテキストで「定着」させます。構造化された入出力ペア (オプションC参照) を提供することで、モデルはコンテキストから学習し、期待される出力をより確実に反映できるようになり、分類精度が向上します。

例えば、UiPathは、次のような構造で明確にフォーマットされたトレーニング例を使用することを推奨しています。

入力: "[テキスト]"

出力: "[ラベル]"

これは、UiPathのプロンプトエンジニアリングフレームワークにおけるガイダンスと一致しており、明確なタスクデモンストレーションを備えた少数のサンプルを使用すること

で、サンプルがまったくない、または曖昧な入力形式 (オプションAまたはBなど) よりもモデルのパフォーマンスが大幅に向上することを強調しています。オプションDは、グラウンディングが不十分なため、パフォーマンスが低下します。

UiPathは、ラベルの明確さ、フォーマットの一貫性、および明示的な指示の重要性を強調しており、オプションCではこれらすべてが満たされています。この方法は、どのようなカテゴリが存在するかだけでなく、どのように分類を行うべきかをモデル化することで、新しい入力に対するプロンプトの一般化もサポートします。

この技術は、LLMがノイズの多い非構造化データ (電子メールなど) を処理し、チケット作成、エスカレーション、フィルタリングなどの適切な下流アクションをトリガーすることが期待される、現実世界のエージェント型ワークフローにおいて非常に重要です。

質問: 14

ソフトウェアの問題に対する段階的なトラブルシューティングガイドを生成するエージェントが設計されています。テストの結果、ガイドは分かりにくく、重複した手順が含まれているため、ユーザーを混乱させることが判明しました。プロンプトを改善する最適な方法は何でしょうか？

- A. エージェントがステップ形式を試せるように、一般的な例を追加します。
- B. エージェントがより詳細なトラブルシューティングガイドを生成できるようにして、完全性を確保します。
- C. 手順が実行可能で簡潔かつ重複のないものになるよう、明確な指示を提供する。
- D. プロンプトを簡略化するために、各ステップを詳細に説明することは避けてください。

正解: [\(正解を表示します\)](#)

Cisの指摘は正しい。最も効果的な改善策は、エージェントに対し、実行可能で簡潔かつ冗長性のない手順を生成するよう明示的に指示することである。UiPathは、プロンプトに明確なタスク目標、構造、およびトーンに関するガイドラインが含まれている場合、LLMの出力が大幅に向上すると強調している。

この場合：

- * 手順の繰り返しを避ける」
- * 各ステップを実行可能なものにする」
- 簡潔かつ明確に」

これらは、生成されるコンテンツにおける混乱や冗長性を直接的に軽減する指示の例です。

選択肢AとBは曖昧さや冗長さを招き、問題を悪化させる。

Dは詳細を削除してしまう。これは、段階的な明確さに必要なこととは正反対だ。

UiPathのプロンプトエンジニアリングツールキットは、高品質で一貫性のある自動化ガイドを作成するために、厳格な書式設定、トーン、および出力制約を推奨しています。

質問: 15

自律システムにおいて、目標指向型の実行が重要なのはなぜですか？

- A. 目標達成よりも、タスクをランダムに適応させることに重点を置いています。
- B. 結果に関係なく、すべてのタスクが均等に優先されることを保証します。
- C. 質の高い結果を生み出すことよりも、迅速な実行を優先します。
- D. 行動とプロセスを、事前に定義された目標に効果的に整合させます。

正解: ([正解を表示します](#))

目標指向の実行は、UiPathのエージェントフレームワークで構築されたシステムを含む、自律システムおよびエージェントシステムのコア設計原則です。これにより、すべての決定、アクション、またはツールの呼び出しが、チケットの解決、フォームの記入、レポートの作成など、明確に定義された結果と整合することが保証されます。

UiPathのエージェント設計手法では、エージェントには以下のものが割り当てられます。

* 役割が定義済み（例：請求書審査担当者フィードバック分類担当者）

* 目標（例：入力内容トリアージ、ルールに基づく承認／却下）

* 活動する上での制約と状況

このアプローチにより、エージェントは単に受動的に行動するのではなく、目標状態を追求し、利用可能な情報と意思決定ルールに基づいて動的に適応することが保証されます。選択肢Aは自律性を誤解している。ランダム性は信頼性を損なう。

Bは、エージェントにとって重要な優先順位付けメカニズムを無視している。

Cはスピードと成功を混同している。目標指向システムにおいては、スピードそのものよりも正しい結果の方が重要である。

目標の整合性によって、エージェントは論理的に推論し、優先順位を付け、インテリジェントにエスカレーションすることが可能になり、自律的な実行が実現するだけでなく、拡張性と安全性も確保されます。

質問: 16

エージェントに既存の UiPath プロセスを呼び出すようにするには、ツール > プロセスでそのプロセスを追加します。プロセスを選択可能にするには、どの前提条件を満たす必要がありますか？

- A. プロセスは、デプロイ場所に関係なく、少なくとも 1 つの文字列入力引数を公開する場合にのみ表示されます。そうでない場合、エージェント ツールはエージェントにとって無関係になります。
- B. プロセスは既に公開され、あなた およびエージェント)がアクセス権限を持つ共有 Orchestrator フォルダーにデプロイされている必要があります。
- C. テナント内のどこかに公開されたプロセスは、追加のデプロイや権限なしに自動的にリストに表示されます。
- D. プロセスは、デプロイ場所に関係なく、少なくとも 1 つの文字列出力引数を公開する場合にのみ表示されます。そうでない場合、エージェント ツールはエージェントにとって無関係になります。

正解: ([正解を表示します](#))

正解はこれです。UiPathのAgent Builder (Studio Web)では、エージェントから既存のUiPathプロセスを呼び出す場合 (ツール>プロセス経由)、そのプロセスは2つの重要な前提条件を満たす必要があります。

* 共有 Orchestrator フォルダに公開およびデプロイする必要があります

* あなたとエージェントは、そのフォルダへのアクセス権を持っている必要があります。これにより、以下のことが保証されます。

エージェントは実行時にプロセスを特定して実行できます

* ロールベースアクセス制御 (RBAC)が尊重されます

* 入力/出力引数、実行ログ、および例外は、適切な環境内で適切に管理されます。これは、セキュリティとデプロイメントの可視性が厳密に管理されるUiPathのOrchestrator統合型エージェントオーケストレーションモデルに準拠しています。また、エージェント作成者は、自動化作業を重複させることなく、動的なエージェントフロー内で既存のRPAロジックを再利用できます。

オプションAとDは、引数の型がプロセスの可視性に影響するという誤った示唆をしています。これは間違いです。マッピングが定義されていれば、エージェントは任意の引数シグネチャでプロセスを呼び出すことができます。

オプションCは誤りです。公開するだけでは不十分です。プロセスがツールセレクターに表示されるには、展開と権限設定が必要です。

このモデルにより、エージェントは準拠したUiPathプロセスを安全かつ確実に、そして企業ガバナンスに沿って呼び出すことができます。

有効的なUiPath-AAAv1問題集はJPNTTest.com提供され、UiPath-AAAv1試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新UiPath-AAAv1試験問題集を提供します。JPNTTest.com UiPath-AAAv1試験問題集はもう更新されました。ここでUiPath-AAAv1問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/UiPath-AAAv1-mondaishu> 61問、30%ディスカウント、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: 17

アクションアプリを作成する際に、アクションスキーマ内で「承認」と「拒否」の結果を定義する目的は何ですか？

A. アプリが検索結果を検証し、不正な送信を防止することを保証するため。

B. 入力/出力プロパティのレビュー結果に基づいて、エージェントの次のステップをガイドします。

C. 自動化実行中に、ユーザー入力を必須のアクションスキーマプロパティとして保存します。

D. アクションの結果に基づいて、ユーザー向けのフォームラベルを動的に更新します。

正解: B ([コメントを发表する](#))

正解はBです。アクションスキーマ内で「承認」や「拒否」などの結果を定義することは、特に人間が関与するレビューを含むシナリオにおいて、エージェントの動作における下流のロジックを導く上で非常に重要です。

UiPathのAction Centerに関するドキュメントによると、アウトカムは明示的な決定ポイントとして機能します。ユーザーがレビュー（ドキュメント、出力、分類など）を完了すると、選択されたアウトカムによってエージェントまたは自動化が次に実行すべき処理が決まります。例：

- * 「承認」をクリックすると、さらなる処理または送信が開始される場合があります。
- * 「拒否」は、再作業、エスカレーション、またはプロセスの終了につながる可能性があります。

これは特に、エージェントが不確実なタスクを人間に委任し、人間の反応が結果主導型の分岐ロジックを通じて次のステップを決定するような、非エージェント型ワークフローにおいて重要である。

オプションA、C、Dは、データ検証、必須項目、UIの微調整など、関連性のない機能に関するものであり、いずれも結果が制御する論理的な帰結を定義するものではありません。

質問: 18

プロセスエクセレンスの実践者がビジネスプロセスモデリング表記法 (BPMN) を使用する際の特徴は何ですか？

- A. 動的または予測不可能なプロセス変更をサポートせず、静的なワークフローのモデリングにのみ使用されます。
- B. 美的ワークフローを設計するためのツールのみを提供し、制御された自動化や動的なプロセス管理には重点を置いていません。
- C. ビジネスグループとIT実装担当者間の標準ベースのモデル駆動型コラボレーションを可能にする役割を果たします。
- D. エラー処理や例外処理のサポートなどの構成要素が欠けているため、制御された自動化設計での使用が制限されます。

正解: [\(正解を表示します\)](#)

正解はCです。ビジネスプロセスモデリング表記法 (BPMN) は、プロセスエクセレンスの実践者がビジネスワークフローを視覚的に定義、伝達、管理するために使用する標準ベースのモデリング言語です。

UiPathのMaestroオーケストレーションプラットフォームでは、BPMNは以下間のコラボレーションの架け橋として機能します。

- * ビジネス関係者（プロセスと目標を定義する人）
- * 技術実装担当者（自動化とエージェントロジックを構築する担当者）

BPMNには、以下のような豊富な構成要素が含まれています。

条件付きロジック用のゲートウェイ

- * エスカレーションおよびエラーに関するイベント
- * タスク、サブプロセス、および人的介入

これは、静的なプロセス・マッピングだけでなく、動的で主体的なワークフローにも最適です。

AとBは誤りです。BPMNは、適応性、自動化、および協調性を備えたオーケストレーションのために構築されています。

Dは間違いです。BPMNはエラー処理、再試行、フォールバックフローをサポートしており、これらはすべてエージェントによる自動化において非常に重要です。

質問: 19

どのようなシナリオにおいて、モデル評価よりも決定論的評価の方が適切でしょうか？

- A. エージェントの応答のトーンと有用性を評価するとき。
- B. 自由記述式の推論を採点する必要がある場合。
- C. 正しい出力が既知で固定されている場合。
- D. 応答品質がユーザーの満足度に依存する場合。

正解: C ([コメントを发表する](#))

正しい決定論的評価は、正しい出力が既知で固定されている場合に最適です。

バイナリ検証またはルールベース検証を可能にする。

例としては以下のようなものがあります。

- * 完全一致（例ステータス：承認済み）」
- * 正規表現パターンチェック
- * 構造化されたJSON出力
- * 正しいフィールド抽出（例：請求書番号 INV-2023-0021）

UiPathは、次のようなロジックを使用した決定論的評価をサポートしています。

- * 出力は期待値と等しい」
- * XとYを含む」
- * JSONスキーマは有効です」

これは、出力が自由回答式または定性的なものである場合に使用されるモデル評価とは異なります。

例えば、要約、感情、トーンなど）。これらは、出力が多少異なっても「十分良い」かどうかを評価するために、LLMベースの評価を必要とします。

オプションAとBは、モデル採点方式により適した主観的な評価を指します。

Dはフィードバック主導型の品質を意味し、ここでも決定論的なチェックではなく、柔軟な解釈が求められる。

決定論的手法は、検証においてスピード、明瞭性、自動化を実現するため、正解が一つしかないタスクに最適です。

質問: 20

少ショットプロンプトの決定的な特徴は何ですか？

- A. モデルの応答を導くために、中間的な推論ステップに依存しています。
- B. モデルが例や指示なしに応答を生成することを要求します。

C. 複数のプロンプトを連続したワークフローでリンクします。

D. モデルがタスクをよりよく理解できるように、いくつかの例を使用します。

正解: ([正解を表示します](#))

これは正しくありません。少数のプロンプトの決定的な特徴は、プロンプト内に複数の入出力例を含めて、LLMに望ましい動作または出力構造を示すことです。

UiPathのエージェントプロンプトの実践では、少数の例が役立ちます。

* モデルを一貫した形式に固定する

* 作業指示の曖昧さを軽減する

* 分類、変換、コンテンツ生成などのタスクのパフォーマンスを向上させます。例:

入力: 「パスワードが機能しません。」

出力: 「カテゴリ:ログインの問題」

入力: 「アプリが開きません。」

出力: 「カテゴリ:アクセスエラー」

これはプロンプト内でモデルをトレーニングするため、微調整は不要であり、インテリジェントエージェントを構築する上で強力な設計パターンとなる。

選択肢Aは、思考の連鎖を促す方法について説明しています。

Bはゼロショットプロンプトを指します。

Cは、高度なオーケストレーションで使用されるトッププロンプト連鎖を指し、少数ショットロジックのことではありません。

質問: 21

あるチームが、プレーンテキスト形式の会議メモをフォーマット済みの議題（例えば、構造化された箇条書き）に変換するエージェントを設計しています。プロンプトにいくつかの変換例を示したにもかかわらず、エージェントは一貫性のない形式の議題を生成します。おそらく、どの重要な手順が見落とされたのでしょうか？

A. 出力フォーマットを詳細に説明した明確な指示を追加する。

B. 簡潔にするために、議題の長さを制限する制約を含める。

C. エージェントの創造性をテストするために、ランダムな書式設定例を追加します。

D. 課題に関する追加のコンテキストなしに、例のみを提供する。

正解: ([正解を表示します](#))

これは問16の繰り返しで、正解はAです。

たとえ少数のサンプルが含まれている場合でも、明確な書式設定指示を省略すると出力に一貫性がなくなり、エージェントによる自動化における下流工程が中断される可能性がある。

UiPathのプロンプトエンジニアリングに関するガイダンスでは、特に出力形式が重要な場合（議題分類、構造化テキストなど）、指示の明確さは例と同じくらい重要であると強調しています。

最適なプロンプトには以下が含まれます。

タスクの説明（例：会議の議事録を3つのセクションに分ける）、明確な書式指示（例：箇条書き、太字の見出しを使用する）、いくつかの例、長さやトーンなどのオプションの制約。最初の要素である明確な指示がないと、LLMは出力形式を推測する必要があり、ばらつきや信頼性の低下につながります。

有効的なUiPath-AAAv1問題集はJPNTTest.com提供され、UiPath-AAAv1試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新UiPath-AAAv1試験問題集を提供します。JPNTTest.com UiPath-AAAv1試験問題集はもう更新されました。ここでUiPath-AAAv1問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/UiPath-AAAv1-mondaishu> 61問、30%ディスカウント、特別な割引コード: **JPNshiken**」